

寺子屋式アクティヴ・ラーニング への回帰

今井新悟（筑波大学）

資料ダウンロード：shingo-imai.net

自己紹介を兼ねて

学習者の自律性を育てる教授法 New Silent Wayと教師の役割

筑波大学留学生センター教授 今井新悟

教師の レゾンデートル とは？

インターネットの急速な普及により、教室で教師が日本語の知識や日本文化情報を伝えるという教育スタイルは価値を失いつつあります。学習者が必要とする情報はインターネット上に溢れ、無料の日本語のレッスンもたくさんあります。教室にはいない母語話者との会話もインターネットでできます。では、学習者がわざわざ日本語の教室に通う価値はどこにあるのでしょうか。

日本語教育に限らず、学習の目的は知識の獲得から課題達

行能力向上へと変化してゆきます。そのために必要となるのが自律学習スタイルです。教師には学習者の自律を助ける役割が求められます。その具体的な方法として、新しい教授法New Silent Way (仮称)を紹介します。教授法は提案されては否定される歴史を繰り返してきました。今回紹介する教授法も例外ではないでしょう。参加者ごとの教授法の是非について活発な議論をしたしたいと思います。その議論から、今後の教師の役割が見えてくると思います。

今井新悟 筑波大学留学生センター教授 兼 日本語・日本事情遠隔教育拠点長

専門領域：

認知言語学、日本語教育学、言語テスト、eラーニング

主要業績：

「J-CATオフィシャルガイド：コンピュータによる自動採点日本語テスト」ココ出版

「日本語多義語学習辞典 形容詞・副詞編」アルク 他



2015年2月15日(日)
10:00-13:00

於・国際交流基金メキシコ日本文化センター 参加費 無料
お申し込み・お問い合わせはメキシコ日本文化センター 蟻末
arisue@fjmex.org まで 定員 10名限定!

Facebookでの過去の思い出 3年前

筑波大学のShingo Imaiさんが
メキシコ文化センターで
セミナーをしてくださります!

蟻末 淳

何も新しいことはありません。

2015年10月 基調講演@クアラルンプール

「教えない教え方 : New Silent Way」

黙る

待つ

阿吽 T: 「うん？」 S: 「ああ！」

私の誤算：教師＝話したい人たち

教師は話す職業であるが、話すことに努力しているだろうか、話す力をつけるにはどうすればよいか。

<http://hiro12.cocolog-nifty.com/blog/2017/02/post-d101.html>

教師の資質として必要になる「話す力」。相手の心に思いを届けるには話す技術だけでなく、声の質も大切なんですね。やっぱり教師は役者でないと。

<https://togetter.com/li/296523>

事後アンケート

I was expecting to have more informative information, however feel a little bit sad not to get them.

事後アンケート

おもしろそうなテーマなので、期待していましたが、
内容は、正直、ポスター発表並みでした。
例年すばらしい講師の方が招かれ、
新しいことをご教示いただいていたのに、
残念です。



Copyright © いらすとや

“New Silent Way” 封印
教科書『なるほど』お蔵入り



Copyright © いらすとや

中身そのまま、流行語でカモフラージュ

- ・ アクティブ・ラーニング
- ・ オートノミー
- ・ 学習者中心



合唱曲「希望の光」

閑話休題

私は何にあらがっているのか

一斉授業 = 画一化

お口にチャック (attention)

手はお膝 (姿勢)

ドリル (パターン)

チャイム (時間)

教室 (空間)

“PDCAファシズム”

重本直利(2011)「目標管理の誤読」, (2013)「日本の大学は死んだのか」

Plan : 計画

カリキュラム、シラバス、教案

Do : 実行

授業

Check : 評価

授業の振り返り

Act : 改善

何を : Can-doと学習者ができなかったことの差異埋め？

いつのため : 次の授業？ 来学期の授業？ 将来？

どう : 自習？ 次の授業中？ 来学期の授業中？

PDCAの提唱者とされる W. E. Demingの真実

PDCA cycle は “corruption”

社員へのスローガン、奨励、**達成目標を廃止**せよ。

労働者としての誇りを奪う障害を取り除け。

…その**障害**は、年次の業績**評価**や人事考査である。

Deming (1982) Quality, Productivity, and Competitive Position. MIT

Deming (1986) Our of the Crisis. MIT

藤本他 2017『反「大学革命」論：若手からの問題提起』から引用

Deming (1990). 'Personal letter to Ronald D. Moen.' by Wikipedia

私は何を目指しているのか

- 1) 教師
- 2) 授業
- 3) 学習者

1) 教師

- 理論と実践と信念
- 専門知識
- アダプティブ

1) 教師：理論と実践と信念

理論

研究

何を

実践

現場

どうやって

信念

教育哲学

なぜ教える？

1) 教師：教育哲学⇒信念のよりどころ

苫野一徳(2017-18)「教育哲学への道」(連載)『西日本新聞』

☆ **子どもが中心**となり、その周りに教育についての装置が組織されることになるのである。【デューイ】

☆ **相互に承認**しあうこと〔中略〕が絶対的な精神である。【ヘーゲル】

☆ 子どもたちに学習の規律を**教え込み**、強制的に勉強させようとしても結局は**失敗**に終わる。【ペスタロッチ】

☆ 規律は**自由**を通して生じなければならない。ここに公立学校の方法の信奉者が理解しにくい重要な原理がある。【モンテッソーリ】

☆ 教育者は、多くの困難と失望にもかかわらず、子どもたちを**信頼し続ける**必要がある。【オットー・ボルノー】

1) 教師：専門知識

授業前

授業デザイン

教材作成

ITリテラシー

授業中

予測

negative feedback

アプリリテラシー

個別質問・型破りな質問

1) 教師：アダプティブ

定型的熟達者 ⇒ 適応的熟達者

PDCA ⇒ Unlearn（学びほぐし）

Single-loop learning ⇒ Double-loop learning

メタ的視座

波多野誼余夫・稲垣佳世子(1983)「文化と認知－知識の伝達と形成をめぐる」坂元昂編『現代基礎心理学7：思考・知能・言語』東京大学出版会

石井英真(2014)「教員養成の高度化と教師の専門職像の再検討」『日本教師教育学会年報』23, 20-29
より引用

1) 教師：アダプティブ

教育の世界では、具体的な目標を立てて実践に当たると、多くの場合、当初の**目標とは食い違う**ことが起こる。相手側がただ機械的に反射しているのではなく、**能動的・主体的**に反応するからである。

教育は、被教育者を自立化し、主体化する営みだから、相手側の能動的主体性の現れでもありうる「**思いもかけないこと**」は、けっして安易に排除されるべきではなく、むしろできる限り尊重されるべきである。

教員には、「思いもかけない結果」「ずれ」を無視したり捨象したりせず、むしろそれに**敏感に開かれている**ことが求められる。PDCAサイクルという発想はそれを契機とする相互生成の可能性を抹殺しかねない。

2) 授業

- 真正性
- アダプティブ

2) 授業：真正性

教室 = コミュニティ = ピアラーニング

ICT：インターネット、スマホなど

2) 授業：アダプティブ

個人化

柔軟性

発展性

2) 授業：アダプティブ

個人化

柔軟性

発展性

つまり、なんでもあります。

有益（と思う）なら。

例えば、文法積み上げの是非を問うこと自体がナンセンス

3) 学習者

主体性

真の学習者主体（掛け声だけは耳にタコ）

新学習指導要領：「主体的・対話的で深い学び」

発言量は年齢に反比例する（パクン@20170110NHK）

幼児＞小学生＞中学生＞高校生＞大学生＜ある年齢以上の女性

自律・自立

学習しない⇒受動的⇒能動的⇒自律・自立

実践例

語彙・句型導入：～ができます



タスク：～ができます

文法クラス

1. サイトを指定
2. 授業：PC教室で自習
3. 宿題：各自問題を作ってLMSにアップ
4. 予習：全員の問題と答えを見て理解
5. 教師：問題を編集してクイズを作成
6. 次の授業：クイズ、答え合わせ

説明は学習者に振る。どうしても分からないときは教師が説明

2. (から繰り返し)

反応

学習者：Ok

教師：No!

教師の反応

教育効率がよくない

時間がかかりすぎる

授業が予定通り終われない

分からないままになってしまう学習者がいる

初級では無理

教師がいる意味がない

評価できない

意識改革？

ベテランの意識改革は難しい

方策1：長期戦：階段を上るように少しずつ

例：学校

方策2：短期戦：育成よりも即効性のある交代

例：企業

寺子屋



江戸時代
書生
の
生活

小学校



(『訓童小学校教導之図』肉亭夏良画)

寺子屋⇔学校

個別学習目標 ⇔ 一斉授業

個別プログラム

個別教材

個別指導

何も新しいことはありません。

必要なのは、

覚悟だけです。

To teach, or not to teach,
that is the question.

Do not teach.

Let the student learn.